

有機農業イベントを活用した消費者への理解醸成に向けた取組

高知オーガニックフェスタに参加し、「みどりの食料システム戦略」など環境にやさしい持続可能な消費について、消費者等の関心・理解を深めるパネル展示とミニ講座を実施。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略、農政の方向性

○ きっかけ・背景、課題の把握

有機農業をはじめとする環境にやさしい農業を拡大していくためには、消費者等の理解と協力が不可欠。有機農産物や環境に配慮した加工品を買い求める人で賑わう「高知オーガニックフェスタ」に令和4年から参加し、みどり戦略等の各種施策のPRを実施。

○ 取組の内容

本年の出展にあたり、当拠点ではプロジェクトチームを設置し、出展の計画を練り上げた結果、パネル展示に加え、新たにミニ講座を実施することとなった。

ブースでは、みどり戦略や有機農業等のパネル展示、DVDによるみどり戦略やニッポンフードシフトの動画を上映。

当拠点職員によるミニ講座では、「知ってる？日本の食料事情今日から出来る取組を考えてみよう！」と題して食料自給率やみどり戦略等の説明及び親子で楽しめるクイズを実施。

○ 効果・成果、今後の方向性

ブースにおいて実施した有機農業に関するアンケートでは、「有機農業が広がることを期待している。」等の意見があり、周知の必要性を認識した。

今後も消費者等に対して環境にやさしい農業の生産・消費拡大や有機農業への関心を高めてもらうため、PR活動を実施する。



ミニ講座の様子



展示パネルを用いての説明

体制図

